

2023 年度宝塚市立末成小学校 3 年生環境体験学習実施要領(夏季編)

「生きものつながり探検隊」

～武庫川河原の生き物調査～

写真・記録 新宅喜美子

日 時	2023年 6 月 1 日(木) 9:30～11:50
場 所	武庫川河原
目 的	身近な武庫川に生息する生きものを調査し、川の中にいろいろな生き物が潜んでいることを知る
児 童	3 年 1 組 32 名 川崎先生 3 年 2 組 31 名 宮村先生 他 1 名
MNC スタッフ	総括 村上 川の生き物指導 木村(俊) 石崎 八尋 詠田 撫坂 吉田 高山 高橋(美) 小山 山本 木村(良) 小西 樋口 新宅 15 名
スケジュール	9:00 MNC スタッフ・末成小学校 校門前集合 9:20 児童校門前集合 はじめのあいさつ 先生・村上 9:30 出発(武庫川河原へ 9:50 武庫川河原到着 学習の目的・諸注意 先生・木村(俊) 10:10 川に入り生きもの捕獲・観察開始 各班担当者 10:50 観察・採取終了・学習まとめ・感想発表 先生・木村(俊)・村上 11:30 学校に向け出発 先生 11:50 学校到着・挨拶・解散 先生
校 門 前	時間通り、集まってきた児童たちはリュックを背負って武庫川に行く準備万端です。
武庫川河原	村上さんの最初のあいさつで今日は武庫川で「生き物調査をします、一人一人が探検家ですよ」の言葉で武庫川にむけて出発です。 先生の川の中では焦らないでゆっくり行動するようになど諸注意に続いて、木村さんの生き物の見つけ方、取り方のお話し、この場所は木、草がなく、水の中にも水草もないので、生きものには住みにくい所ですが、石のまわり、石の下など見ると良いよと教わって、川に入りました。 川に入ると早々に「アメンボ取れた」「メダカだよ」「これなに？」つぎつぎ声が聞こえます。 中々川に入る機会も少ないので、元気いっぱいです。すこしこわごわの児童もいますが――、40 分ほどの間でしたが、武庫ネイチャーの用意したトレーに多くの生き物を採取しました。 そのあとは班で水質調査ハンドブックを使って名前調べ真剣です。「コオニヤンマの幼虫だ」「オオシオカラトンボのヤゴだよ」「ギンプナ」おたまじゃくしと思ったものがひげもありナマズの赤ちゃんだと分かりました。分からないのはスタッフにも聞きながら、頑張りました。 あまりいないのではないかと心配しましたが、それぞれの班がたくさん採取できて満足気でした。 アメンボ・ガガンボのなかま・スジエビ・ギンプナ・ハグロトンボのヤゴ・ミナミヌマエビ・ナマズ・イトミズ オオシオカラトンボのヤゴ・シジミ・トビゲラ・ヒル・オニヤンマのヤゴ・コムズムシ・オタマジャクシ・ コオニヤンマのヤゴ 16種類(分かったものだけです) 188匹
児童の感想	* さかながないと思ったけどいっぱいいて良かった。 * 何も取れなかったので残念でした。 * 初めて川に入りましたが、つめたかったです。 * 最後にかしたくなかったけどにかしました。 * メダカがとれて嬉しかったです。(フナのなかまだったかな?) * 魚はとれなかったけど他のものがいっぱい取れました。 ◆ 村上さんから 今日とても楽しかった人 (は～い多くの児童が手を挙げていました) 残念だったこと (魚が死んだことです)



はじめのあいさつ



木村さんのお話し



採取風景



きつというはず



気を付けてね



名前は何かな



なん匹いるかな

<p>雑 感</p>	<p>暫く続いた雨の影響で水かさも増し、実施できないだろうとの覚悟で前日の下見、このまま降らなければ大丈夫と判断、当日は期待通り水かさもかなり減りました。準備してくださる方は事前に安全のためにロープを張って領域確保、児童たちが、水の中にいる間、ずっと見守って下さっていました。川の中でのスタッフの皆さんの児童への言葉かけ「そこ滑るから気を付けてね」気遣いが伝わってきます。往復の道すがら児童との会話で「川は危ないので行ってはいけない」ので、初めて川に入ると聞かされて(当然かなと思う一方自然と関われる良い場所なのに)、安全を確保しながら、自然の厳しさ・大切さを知るためにも武庫ネイチャークラブの環境体験学習支援として大切な活動だと感じました。</p>
------------	---